

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年8月21日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年8月21日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【プロセス建屋のページング主装置の不具合について】 プロセス建屋のページング主装置の地絡警報発生を確認。 確認の結果、プロセス建屋のページング主装置の不具合を確認。 原因は、結露によるものと推定。 復旧作業を実施し、ハンドセット間の通話、スピーカからの緊急放送については、復旧済み。 また、ハンドセットからの拡声機能は、一部エリアを除き復旧完了。 今後、原因調査およびハンドセットからの拡声機能(一部エリア)の復旧予定。</p> <p>※ページングとは、構内で通話や緊急放送を行う通信設備</p>	GⅢ	8月16日
2	<p>【工具センターのトルクレンチ定期校正検査における精度の逸脱について】 工具センター貸出工具のうち、トルクレンチの定期校正検査を行った結果、5品目について精度の逸脱を確認。 精度を逸脱したトルクレンチを借用した協力企業へ確認したところ、検査では使用していないため問題なしを確認。 精度を逸脱したトルクレンチについては、調整を実施し再使用予定。</p>	GⅢ	8月19日